

令和8年度 青森市子ども会議 in 第41回子どもの祭典

- 1 日 時 令和8年7月5日（日）7時25分～15時00分
- 2 場 所 浪岡総合公園
- 3 出席者 子ども会議委員15名、事務局4名
- 4 活動内容 子どもの権利等に関する出張普及啓発活動



5 開催概要

昨年度に引き続き、「子どもの祭典」にブースを出展し、ゲームを通じた「子どもの権利等に関する出張普及啓発活動」を行いました。終日晴天に恵まれ、暑さに気を付けながら無事に活動することができました。

<今年のブース内容>

- ① スタンプラリー・アンケート
- ② スノードーム・キーホルダーづくり
- ③ ミニゲーム（わなげ・ペットボトルフリップ・割り箸投げ）

事前準備

8時頃に会場の浪岡総合公園に到着し、ブース設営を行いました。テントの設営、子どもの権利や子ども会議をPRする掲示物の貼り付け、テーブルやイスの運搬・配置など、みんなで協力しながら準備をしました。あわせて、各ブースの担当や役割、休憩時間の確認も行いました。

本番（ブースの運営）

<スタンプラリー・アンケート>

来場者に、子ども会議運営の各ブースでゲームなどに参加してスタンプを集めてきてくださいと説明をして、スタンプラリーの台紙を渡しました。スタンプを1個集めた人には子どもの権利相談センターの携帯カード入りのマスクまたは飴を、2個集めた人には鉛筆や定規などの文房具の中から好きなものを1つ、3個集めた人には両方の景品を渡しました。



また、今年度の活動で行いたいとしていた「若者の悩みや不安を知るためのアンケート」を実施し、答えてくれた人にはスタンプラリーのスタンプを1個押しました。アンケートには152人もの人が回答してくれました。集まった意見は、今後の活動に活かしていきたいと思います。

<スノードーム・キーホルダーづくり>

まず、スノードームとキーホルダーの見本を見てもらい、どちらを作るか選んでもらいました。その後、あらかじめ用意した容器や、子ども会議考案のけんりはかせなどのキャラクター、様々な色のグリッターやビーズなどの飾りの中から好きなものを選び、自分だけのオリジナルスノードームやキーホルダーを作ってもらいました。

多くの方が参加してくれて、準備していた約150個の容器が無くなるほどの大盛況でした。



<ミニゲーム>

わなげ、ペットボトルフリップ、コップに割り箸を投げて入れる割り箸投げゲームの3種類のミニゲームを組み合わせたブースを運営しました。わなげでは、的に子どもの権利相談センターのマスコットキャラクターのほたまるなどのイラストを点数ごと貼り付けました。ペットボトルフリップでは、難易度を3段階に設定し、難易度の高いペットボトルで成功した場合には高得点となるようにしました。割り箸投げゲームでは、コップに子どもの権利に関するイラストを貼りました。それぞれのゲームの得点に応じて、Aランクはトートバック、Bランクは缶バッジまたは立体シール、Cランクは子どもの権利相談センターの携帯カード入りのマスクまたは飴を景品として渡しました。



撤去作業

祭典終了の14時頃からブースの撤収を行いました。テーブルやイスを片付け、掲示物をはがし、テントをたたむなど、最後までみんなで協力して片付けを行うことができました。



子ども会議委員は、ブース運営を行いながら交代で休憩を取り、他のブースや催しも楽しむなど、子どもの祭典を満喫しました。暑い中での活動となりましたが、祭典の開催時間いっぱい活動することができました。無事に子どもの権利等に関する出張普及啓発活動を終え、参加者に楽しみながら子どもの権利について知っていただく機会とすることができました。